

報道関係者各位

令和6年12月12日

首都圏プロモーション

特別展示「京都舞鶴－世界記憶遺産×日本遺産 巡回展 in 丸の内」について

10月25日開催の市長定例会見で発表しました特別展示「京都舞鶴－世界記憶遺産×日本遺産 巡回展 in 丸の内」の詳細が決まりましたので、お知らせいたします。

今回の特別展示は、令和7(2025)年の戦後、海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年に向け、引き揚げのまち舞鶴と引き揚げにつながる鎮守府開庁からの近代化への歩みを紹介するもので、東京で初めて公開する世界記憶遺産登録資料の「妻の記録」や、日本遺産関連資料「新舞鶴市街地図」等の展示を通して、首都圏での認知の拡大を図り、舞鶴への誘客、交流人口・関係人口の創出に取り組みます。

《特別展「京都舞鶴－世界記憶遺産×日本遺産 巡回展 in 丸の内」の概要》

1. 会期 2024年12月23日(月)～26日(木)の4日間
2. 時間 10:00～19:00
3. 場所 東京シティアイ パフォーマンスゾーン
東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE地下1階
4. 入場料 無料
5. 主催 舞鶴市

《展示内容の詳細について》

【世界記憶遺産コーナー】

■目玉展示は、互いに家族を思いやる気持ちに満ち溢れた「11年間の家族の絆」

今回の目玉展示は、シベリア抑留体験者の北田 利(きただ・とし)氏が1956(昭和31)年に舞鶴港に帰還するまでの11年4カ月の間、遠く離れた家族が互いを思いやる気持ちに満ち溢れた記録を「11年間の家族の絆」と題し、東京初登場となる利氏の妻・はま子氏が綴った3冊の「妻の日記」をはじめ、北田氏と家族がやり取りした「俘虜用郵便葉書」(8点)と、ラーゲリ(収容所)で撮影された「ハバロフスク第2収容所での集合写真」(1点)を展示します。

●「妻の日記」の特徴

はま子氏の日記の記載期間は、1950(昭和25)年から1956(昭和31)年頃まで。なかなか利氏の引き揚げが実現しない中で、留守家族が利氏の安否を気遣う様子が、その日常生活とともに鮮明に描かれ、利氏からの葉書が届けられた時の家族3人の喜ぶ様子が、親子の会話とともに描写されています。

また、日々の生活での出来事をはじめ、夫への想いや結婚直後の東京での生活の回想、娘たちの成長についてなど、母・妻として様々な思いを生き生きとした表現で綴っています。また、利氏宛ての俘虜用郵便葉書には書けなかった、本当の想いなども記されています。



東京初登場の「妻の日記」(全3冊)

舞鶴市 観光振興課(担当:松岡、神村) 舞鶴引揚記念館(担当:嵯峨根、山下)

〒625-8555 舞鶴市字北吸 1044

TEL:0773-66-1024(観光)、0773-68-0836(引揚)

FAX:0773-62-9891(観光)、0773-68-0370(引揚)

E-mail:kankou@city.maizuru.lg.jp



SDGs 未来都市

■大切な人への想いを書いたメッセージカードコーナー

シベリアの北田氏が家族に宛てた「俘虜用郵便葉書」には、娘たちの成長を喜び、妻の苦労をねぎらい、夫としての想いが綴られています。

日本からの葉書には、夫・父の早期の帰還と、何よりも無事であることを願い続ける家族の想いが書かれており、家族愛と夫婦愛の深さが読む人の心を打ちます。

会場に「俘虜用郵便葉書」をイメージしたメッセージカードを用意し、メッセージコーナーを設置します。

【日本遺産コーナー】

■東京初登場！鎮守府設置前後の変化がよくわかる

「新舞鶴市街地図」と「余部鎮守府附近新市街地平面図」の実物を展示！

舞鶴鎮守府が開庁した翌年・1902(明治 35)年、鎮守府に通じる幹線道路を中心に、機能的で発展性のある碁盤目状の新舞鶴(現在の東舞鶴)の市街地が完成しました。街路には、「八島(やしま)」「敷島(しきしま)」「三笠(みかさ)」など、当時、海軍で活躍していた軍艦の名前が付けられました。「新舞鶴市街地図」からは戦艦名を付けた碁盤目状の街路がよくわかります。

また、「余部(あまるべ)鎮守府附近新市街地平面図」は新舞鶴の市街地整備に関する計画図で、市街地が建設される以前の地図に、朱書きで道路や河川の計画線が引かれています。

会場では、東京初登場となる鎮守府設置前後の新舞鶴の変化を記録した、これらの地図 2 点の実物を展示します。



「新舞鶴市街地図」

■東郷平八郎人形フォトスポットコーナー

舞鶴鎮守府庁舎を絵柄にしたタペストリーの前で、舞鶴鎮守府の初代司令長官・東郷平八郎の人形と一緒に写真が撮れる「フォトスポット」を設置



東郷平八郎の人形→

【物販コーナー】

舞鶴の土産品等を販売します。

- ・海軍さんのカレー(レトルト、2袋入り): 950 円
- ・舞鶴カレーせんべい: 550 円
- ・引揚チーズタルト: 1,350 円
- ・「海軍四等主計兵厨業教科書」復刻版: 1,400 円
- ・「ラゲリ犬クロの奇跡」(書籍): 1,650 円 など

【日替わりミュージアムトーク】

会場内で日替わりミュージアムトークを実施します。

毎日 11:00～、14:00 の 1 日 2 回(各回 30 分程度)

《トークテーマ》

- ・世界記憶遺産「舞鶴への生還」紹介
- ・次世代による継承について
- ・日本遺産「鎮守府」のストーリーについて
- ・舞鶴の観光の魅力について など

舞鶴市 観光振興課(担当: 松岡、神村) 舞鶴引揚記念館(担当: 嵯峨根、山下)

〒625-8555 舞鶴市字北吸 1044

TEL: 0773-66-1024(観光)、0773-68-0836(引揚)

FAX: 0773-62-9891(観光)、0773-68-0370(引揚)

E-mail: kankou@city.maizuru.lg.jp



SDGs 未来都市